

会 議 録

会 議 名 称	令和2年度 第2回登米市総合計画審議会
開 催 日 時	令和2年11月16日（月） 午前9時開会 午前10時50分閉会
開 催 場 所	登米市迫公民館 2階 軽運動場
議長（会長）の氏名	公立大学法人宮城大学 教授 徳永 幸之
出席者（委員）の氏名	<p>公立大学法人宮城大学 教授 徳永 幸之【会長】 登米市子ども・子育て会議 委員 鹿野 良子【副会長】 登米市景観形成会議 寺島 洋子 登米市男女共同参画審議会 会長 須藤 明美 宮城県東部地方振興事務所登米地域事務所 所長 吉田 信幸 登米市中学校長会 鈴木 光之 特定非営利活動法人登米市体育協会 会長 佐々木 猛 登米市文化協会 理事長 鈴木 敬一 一般社団法人登米市医師会 副会長 松本 宏 社会福祉法人登米市社会福祉協議会 事務局長 宍戸 敬吾 登米市民生委員児童委員協議会 会長 小橋 三男 登米市食生活改善推進員協議会 副会長 千葉みどり 登米地域商工会連絡協議会 会長 阿部 泰彦 みやぎ登米農業協同組合 常務理事 須藤 正美 登米市環境市民会議 菅原 亜希子 登米市コミュニティ推進連絡協議会 会長 鈴木 香 公益社団法人とめ青年会議所 理事長 千葉 隼人 株式会社七十七銀行 佐沼支店 支店長 三品 克巳 株式会社仙台銀行 佐沼支店 支店長 郝 栄光 株式会社日本金融公庫 石巻支店 支店長 今成 潔 連合宮城仙北地域協議会 事務局長 伊藤 秀樹 株式会社登米コミュニティエフエム 代表取締役 齊藤 恵一</p> <p style="text-align: right;">以上22名</p>
欠席者（委員）の氏名	<p>登米市都市計画審議会 遊佐 正克 一般社団法人登米市観光物産協会 会長 猪股 育夫 宮城北部流域森林・林業活性化センター登米支部 支部長 高橋 平克</p> <p style="text-align: right;">以上3名</p>

事務局職員 氏名	まちづくり推進部 部長 佐藤 裕之 まちづくり推進部 次長 佐藤 嘉浩 まちづくり推進部まちづくり推進課 課長補佐（総合調整）伊藤 宏一 まちづくり推進部まちづくり推進課 課長補佐兼まちづくり推進係長 岸名 紀彦 まちづくり推進部まちづくり推進課 まちづくり推進係 主査 佐藤 彩
議 題	【協議事項】 ①第二次登米市総合計画基本計画改定（案）について ②第二次登米市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定について
会 議 結 果	別添のとおり
会 議 経 過	別添のとおり
会 議 資 料	【資料1】 第二次登米市総合計画（案）（令和2年12月改定） 【資料2】 第二次登米市総合計画基本計画改定案新旧対照表 【資料3】 令和2年7月開催の登米市総合計画審議会からの変更・修正点一 覧表 【資料4】 第二次登米市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）

発言者	発言要旨
【1 開 会】	
事務局	<p>本日は、お忙しいところお集まりをいただきまして、大変ありがとうございます。</p> <p>ただいまから、令和2年度第2回登米市総合計画審議会を開催いたします。</p> <p>本日は、「登米市審議会等の会議の公開に関する指針」に基づきまして、原則として公開となっておりますので、御承知をいただきますようお願いいたします。</p> <p>本日の審議会は、次第にございますとおり、議題2件につきましてご審議をいただき、答申を含めまして終了時刻は午前11時を予定してございます。</p> <p>なお、本日の次第裏面にございます委員名簿14番の猪股育夫委員様から欠席のご連絡をいただいております。</p> <p>それでは開会に当たりまして、徳永会長からご挨拶をいただきます。</p>
【2 挨拶】	
徳永会長	<p>皆さんおはようございます。朝早くからお集りをいただきまして、ありがとうございます。</p> <p>前回の7月の開催時にも皆様から様々なご意見をいただきまして、その後、タウンミーティング、パブリックコメント、市議会での全員協議会でご意見をいただき、改定案が出てまいりましたので、それをご審議をいただき、本日は市長への答申をしたいということでございます。</p> <p>また、それを踏まえまして、第二次のまち・ひと・しごと創生総合戦略につきましても、前回は骨子ということでしたけれども、本日は具体的な案という形で出てきましたので、こちらについてもご審議いただきたいということでございます。なかなかコロナという状況の中で、長時間激論を交わすということは難しいのかもしれませんが、皆様方から忌憚のない意見をいただきながら進めていければと思いますので、よろしく願いいたします。</p>
渡邊副市長	<p>皆様おはようございます。市長は公務が重なりまして、代理で出席させていただきました。</p> <p>本日は大変ご多忙の中、ご出席を賜りまして、厚く感謝申し上げたいと思います。審議会の委員の先生方には、今後5年間の登米市の方向性を決める総合計画の議論に活発なご意見を頂戴いたしましたことに心より御礼を申し上げたいと思います。改定案につきましては、これまで市としましてはタウンミーティングやパブリックコメントを行い、パブリックコメントでは多数のご意見を頂戴いたしました。タウンミーティングは残念ながら市内3か所で開催したわけですが、参加者が非常に少なく、今後の持ち方についても、我々手を加えていきたいと思っております。また、議会でも全員協議会で非常に活発なご意見をいただきました。後ほど事務局の方から報告があるかと思いますが、本当に活発なご意見をいただきました。さらに庁内で議論を重ね、検討してきたところでございます。今回、この総合計画につきましては、最後のプロセスということになっており、本日答申をいただ</p>

	<p>くことになっております。</p> <p>また、もう1つの議題であります地方創生の関係でございますけれども、まち・ひと・しごと創生総合戦略につきましては、令和3年度から5か年の次期総合戦略を策定しなければならない状況です。今年の7月に骨子案をお示しさせていただいたところでございますけれども、その後庁舎内で検討してきた案をご提示させていただきたいと思っております。</p> <p>本日はどうぞよろしくお願いいたします。</p>
【3 議 題】	
事務局	<p>それでは議題に入ります。</p> <p>議長は登米市総合計画審議会条例第7条の規定によりまして、徳永会長にお願いをいたします。</p>
会 長	<p>それでは、議事に入ります。</p> <p>まず始めに、登米市総合計画審議会条例第7条第2項の規定により、審議会の会議は、委員の半数以上の出席が必要ということでございますけれども、本日、現在のところ17名の出席をいただいております。したがって会議は成立しておりますことを報告いたします。</p> <p>次に会議録の議事録署名人の指名でございますが、今日は10番 松本 宏委員と11番 穴戸 敬吾委員にお願いしたいと思っておりますが、よろしいでしょうか。</p> <p>それでは議題に入ります。</p> <p>(1) 第二次登米市総合計画基本計画の改定(案)について事務局からの説明をよろしくお願いいたします。</p>
事務局	(配布資料1・2・3に基づき説明を行う)
会 長	只今、事務局から説明がありましたが、委員の皆さんからご質問、ご意見等ございましたら、いただきたいと思っております。
会 長	<p>資料3を見ますと7月の審議会の意見は少なく、主にはパブリックコメントでいただいた意見に対する修正が多かったと感じています。</p> <p>私から字句訂正程度になりますが、よろしいでしょうか。まず資料1、54ページの今後の方向性の4段落目、「施設面について…」というところがありますが、構造や機能上の課題とありますが、構造というとなかなか重い課題に見えてしまうのですが。例えば、耐震補強が足りていないとか、そのように聞こえてしまいかねないのですが、ここはどのような意図があるのでしょうか。</p>
事務局	<p>今、会長からお話いただいた構造の表現でございますけれども、我々もこの部分について、どういった意味合いなのかということで、調べてきたところですが、やはり、会長おっしゃるとおり、構造となりますと耐震でありましたり、まさに構造上の問題という意味合いになってきてまいりますので、この部分につきましては、現況と課題の2段落目「施設面においては…」の最後に「防災面・機能面の課題」という表現があります。それを受けた形と</p>

	<p>させていただきますして、今後の方向性につきましても、「構造や機能上の」とある文言を「防災や機能上の」ということで、修正させていただきますと考えてございます。</p>
副会長	<p>目次の2ページ、第2編、第4章土地利用について、見出し1, 2とありますが、資料の中で23ページ、見出し1「土地利用の基本的な考え方」が抜けてしまっていると思うのですが。</p>
事務局	<p>こちらにつきましては、大変申し訳ございません。見出しが抜けておりましたので、入れさせていただきますと思います。</p>
副会長	<p>資料1、14ページ、(3)地域医療の確保というところで、下から3行目、「患者さん」という表現がありますが、敬称の付け方として私としては文書の中に「さん」を付けるのには違和感があるのですが。もし、どうしても敬称を付けなければならないのであれば、教育のところにある「保護者」にも敬称を付けて「保護者さん」にしなければならないのではと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>あとは、資料1の42ページについてですが、内容がキツキツで圧迫感があるので、文字を小さくするなどして、空間を入れていただければと思います。そういう構成の関係です。内容についてはありません。</p>
事務局	<p>只今いただきましたご意見につきましては、副会長おっしゃるとおり、「保護者」のところには「さん」という敬称はありませんので、「患者さん」についても、「患者」ということで改めさせていただきますと思います。</p> <p>42ページにつきましては、文字数が多いということもございまして、見づらいいということもございまして、行間を空けるなど、表記について工夫をさせていただきますと思います。</p>
会 長	<p>42ページでご指摘いただきましたけれども、見開き2ページに収めるために、行間で調整されているところが実はそれ以外にもあるんですが。私は学生に対しては、書式での調整ではなく、文章で調整しなさいと指導していますが、いずれにせよ、読み難さは否めませんので、よろしく願いいたします。</p> <p>もう1点ですが、前回の審議会の中で避難所の関係について話があったかと思いますが、その点についてもどのような対応となったか、事務局より説明をいただければと思います。</p>
事務局	<p>7月の審議会、あるいはその後会長よりご意見、ご指導いただきました、避難所の件についてですが、資料1、61ページ、施策26消防・防災対策の充実の①の3行目に「ハザードマップを定期的に見直しながら…」とありますが、前回の審議会等で避難所の関係をどのようにするのかのご意見をいただき、この表現をハザードマップだけではなく、文言の追加をさせていただきますと考えております。具体的には、「ハザードマップの見直しや必要に応じ避難所の変更などを行いながら…」という表記に改めさせていただきますと考えてございます。</p>
会 長	<p>避難所の見直しです。避難所だけではないかと思いますが、防災について</p>

	<p>も近年状況がどんどん変わっていく中で、それに合わせてハザードマップの見直しは必要ですし、それを受けての防災対策をどうするのかといったところは、具体的な話をしていかなければならないというところですので、そのあたりを汲み取れる修正ということになると思いますが、よろしいでしょうか。</p>
委員	<p>プラスしてよろしいでしょうか。私からの意見に対し、対応していただき、感謝申し上げます。</p> <p>事務局も大変だと思うのですが、それに新たにしっかり位置付けていただきたいのが、女川原発の再稼働につながる避難を含めたいろんな課題、石巻から登米市に避難するということがあるかと思いますが、一般市民の方とお話しをしても、全く意識の中に無いのではと感じている。女川原発で一朝有事の時はどうするとなれば、登米市が流入を受けるわけですので、その辺の単なる洪水の部分だけではなく、地震や火事などにプラスして、「水の里登米市」の洪水被害についても見直ししていただいたことはとてもいいことだとは思いますが、それに合わせて、女川原発の課題もしっかり想定して位置付けていただけるとありがたい。</p>
事務局	<p>只今、女川原発のお話しを頂戴いたしました。同じく施策26の①の2行目のところで「原子力災害時における避難計画の実効性向上と…」というようにところで原発の関係に触れさせていただいているところです。委員おっしゃるとおり計画だけではなくて、実行性の確保というのが一番重要なところでございますので、こちらにつきましては、市の総務課防災担当の方で、今後マニュアル等を見直ししながら進めていきたいとのことでしたので、ご理解いただければと思います。</p>
会長	<p>非常に重要なご指摘をいただいたかなと思います。どうしても登米市の総合計画ですので、市民向けと思われがちですが、東日本大震災もそうですが、いざ災害が発生した際には受入自治体としての対応というのも求められてくるわけですので、そのあたりも含めしっかり内部で検討を重ねていただければと思いますし、併せて市民に対する情報発信もお願いしたいと思いますが、ここでの表現は先ほど事務局から説明のとおり程度の記述となりますが、ご意見を踏まえ推進していかなければならないと思います。</p> <p>その他、よろしいでしょうか。</p>
委員	<p>資料3の最後のところ、雇用者数の目標についてですが、1,500人ということで、現状950という数字で今後の5年間は550を目標に進めていくということになるかと思いますが、この目標の設定について新たな工業団地等の可能性も含めての算出となるのか等、そのあたりの算出方法について教えていただければと思います。</p>
事務局	<p>重点戦略Ⅲの雇用者数の目標値でございますが、令和元年度までの実績951というのが平成28年度からの実績となります。従いましてこのまま順調にいけば実績はもっと増えるのですが、今が高止まりの状況でございますので、今後は1年間に90人ずつ新規雇用という計算がございまして、若干の端数はあ</p>

	りますが、担当課と調整させていただいてこのような目標とさせていただいております。
委員	ありがとうございます。
会長	その他、よろしいでしょうか。
委員	<p>計画的な土地利用の関係ですが、83ページです、上下水道の整備と総合計画について申し上げたいと思います。</p> <p>総合計画の計画的な土地利用について、内容をみると「立地適正化計画」がこの前も審議会を行ったんですが、その中でも最近特に話題になっております、中心市街地の再編計画の中で、コンパクトシティづくりが注目されているわけですが、総合計画の中でもただ1行、コンパクトシティづくりをするという記述はありましたけれども、具体的にこれからの登米市の発展に影響する中心市街地の活性化について、具体的な文言が無い状態なので、病院とか市役所の移転なども含めて具体的な文言を載せないと、市民の方々から理解を示されないのではないかと。</p> <p>上下水道については、4月から部署が統合され、上下水道部ができましたが、法的には、上水道と下水道は別法律なんでしょうが、上下水道部の経営方針で、上下水道部は一体となって上下水道を整備を図るべきだということで、上水道・下水道併用基盤の強化、市民サービスの向上、経営の合理化、危機管理体制の強化とあげておりますが、その辺についても上下水道が一体となった場合のリンクする連携と、上下水道同時に整備を進めるということ、上水道については、保呂羽浄水場の66億円もかかるという改修事業についても、単に施設の整備を図るということではなく、具体的に事業項目として挙げるべきではないかと思っておりました。</p> <p>もう一つは、商店街についてですが、総合計画には商店街の活性化を図るということも記載されております。コロナの影響も含めて商店街は壊滅状態といえますか、今のところは持続化給付金や金融機関からのゼロ金利融資などで繋いでおりますが、実際に返済の時期になった場合にはどうなるかと大変危惧されている。そういった意味で商店街の活性化はなかなか先行きが困難な状態なのではないかと考えている。商工会の組織についても合併する方向で頑張ってきておりますが、なかなか3商工会の意思が統一できず停滞しておりますが、その辺についても何年も前から市の方に「商工振興条例」を作っていただくようお願いしておりますが、それは未だに検討されていない状況ですので、「商工振興条例」についても検討を進めていただきたい。商店街は壊滅状態で協同組合も全て解散し、任意団体として活動はしておりますが、商店街の活性化にも、もう少し力を入れていくべきではないかと思っておりますので、基本計画の中でも、お願いしたいと思いました。</p>
事務局	まず1点目、土地利用の中でコンパクトシティというような中心市街地の再編のところをもう少し詳しくというようなお話でしたが、この中心市街地

	<p>活性化の件につきましては、市の考え方と言いますか、叩き台の叩き台というような形で一旦議会へ投げかけをさせていただいたような状況でございます。具体的な協議については、これから本格的なものに移行していくということになっております。この基本計画の見直しのタイミングと少し合わないところがあり、この基本計画の中に内容を明確にということになると、協議の部分を飛ばしてしまうということにもなり兼ねないため、基本計画については、この程度の表現にとどめさせていただきたいということです。ご理解をいただきたいと思っております。</p> <p>上下水道については、委員おっしゃるとおり、市の組織の中では一体化を行いました。ご心配いただいております実際の経営基盤の部分や、危機管理の体制につきましては、個別の計画になるかと思っておりますので、上下水道部の所管する計画の中で、謳わせていただきたいと思いますと考えております。</p> <p>最後に商店街の活性化については、大変ご心配いただいているところですが、こちらの部分につきましても、基本計画というよりは、所管する部署が作成している個別の計画の中で表現させていただきたいと思っておりますので、ご理解をいただきたいと思っております。</p>
会 長	<p>総合計画の中ではどこまで具体的に記載できるかというところで、ここでは上位計画として定めさせていただいて、その後、各個別の計画に反映していくというような格付けになっております。その一方で、市民に対して総合計画はある程度伝わるけれども、その下の計画といいますか事業がなかなか伝わりにくいということもあるのかなと今のお話を聞いて思いましたので、そのあたりの広報の工夫も必要になってくるのではないかと思います。それぞれの市民にそれぞれの情報をということではなくても、必要な情報が行き届くような形にさせていただければと思います。</p>
委 員	<p>登米市が破綻しないように、計画は計画として分かりますが、それを実践していかなければならないと思っております。</p>
会 長	<p>KPIも示していただいておりますが、なかなか目標が達成できていないという現実もありますので、その辺も含めてしっかり実行していくということが大切かと思っておりますので、よろしく願いいたします。</p> <p>その他、よろしいでしょうか。だいたいがご意見もいただいて、いくつか修正も入ったかと思っておりますが、本日答申ということになりますので、修正箇所について、再度事務局で整理いただきたいと思いますと思っておりますが、よろしいでしょうか。</p>
事務局	<p>お時間をいただきまして、本日いただきましたご意見に基づきまして修正させていただく部分を確認させていただきたいと思っております。</p> <p>資料1、14ページ、(3)地域医療の確保の下から3行目、「患者さん」という表現を使用しておりますが、こちらについては敬称を取りまして「患者」という表現に改めさせていただきたいと思っております。</p> <p>それから、資料1、54ページ、個別政策8地域医療・救急体制の充実の今後の方向性、下から5行目、「施設面については、構造や機能上の…」とありますが、こちらは、「構造」を「防災」と修正し、「施設面については、防災</p>

	<p>や機能上の…」と修正させていただきます。</p> <p>それから同じく資料1、61ページ、施策26消防・防災対策の充実の①の3行目、「ハザードマップを定期的に見直しながら…」を、「ハザードマップの見直しや、必要に応じ避難所の変更などを行いながら…」に修正をさせていただきます。</p> <p>最後に同じく資料1、23ページで、「1 土地利用の基本的な考え方」という表題が抜けておりましたので、こちらも入れ込ませていただきたいと思えます。</p> <p>以上、4か所でございます。</p>
会 長	<p>よろしいでしょうか。これをもって答申とさせていただきます。</p> <p>なお、その他ご意見いただきました部分につきましても、しっかりと議事録に残していただくということで、意を酌んでいただくということで、よろしく願いいたします。</p> <p>それでは、本日この審議会で決定した修正を加えた第二次登米市総合計画基本計画の改定案をもちまして、審議会から市長への答申といたします。</p>
<p>【答 申】 会長から副市長へ答申</p> <p>※答申後、副市長退席</p>	
会 長	<p>それでは議題に戻ります。</p> <p>(2) 第二次登米市まち・ひと・しごと創生総合戦略の改定について事務局より説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>(配布資料4に基づき説明を行う)</p>
会 長	<p>ありがとうございます。それでは、皆様からご質問、ご意見等ありましたらよろしく願いいたします。</p>
委 員	<p>12ページ、合計特殊出生率の推移について、登米市の平成24年度から平成27年度までの推移としては、数値はだいぶ下がっていますが、平成28年度に増加し、平成29年度にまた下がっているというような状況です。何か特殊な要因等を分析しているものがあれば、教えていただきたいと思えます</p>
事務局	<p>特殊要因としてはこちらでは把握してございません。申し訳ございません。</p>
委 員	<p>少数の規模となると変動も大きくなるのかなとも思えますので、了解いたしました。もう1点、54ページ、基本目標4の基本的方向の最後の部分、関係人口ということで出てきています。関係人口については非常に注目されているところですので、頑張っただければと思っているところでございますが、55ページで、具体的施策の②知名度・認知度の向上の主な取組の3つ目、ふるさと応援寄附金について記載されておりますが、この辺、具体的にどのような取組をされているのか教えていただければと思えますが、よろしいでしょうか。</p>
事務局	<p>ふるさと応援寄附金の取組でございますけれども、令和元年度実績としてはおよそ6,500件、1億5,700万円くらいのふるさと応援寄附金がございま</p>

	<p>た。昨年度からの取組でございますけれども、具体的に登米市では返礼品としてお米や肉が人気があるわけでございますが、その方たちの紹介をするような冊子を作成し、寄附者の方々へ送付しております。</p> <p>昨年度は2回ほど、全体8ページほどになりますが、登米市のお米や肉の紹介、また、具体的な皆様からいただいた寄附金がどのような事業に使われているかということも含めて冊子を作成しており、今後もそういった取組を行いながら、寄附をして終わりではなく、そこから新たな取組として、きっかけを作りながらできれば登米市に来ていただくというような取組を合わせて行っていきたいと考えております。</p>
委員	<p>その関連でもう1点ですが、明治大学の小田切先生という方の紹介ですが、関わり方の改善ということで、特産品の購入等から始まって、寄附やふるさと納税、頻繁な訪問、定期ボランティア、二地域居住、移住定住まで結びつくというような関わり方があるということを紹介させていただきたいと思えます。ふるさと応援寄附金というきっかけができたことを関係人口として取り組んでいくというような取組が必要なのかなと感じており、我々地域事務所としても取り組んでいきたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。</p>
委員	<p>いつも同じようなお話で恐縮ですが、56ページ、交流人口の増加の推進の中で、③スポーツイベントなどを通じた交流人口の増加のKPI、「大会参加者数」とありますが、以前にもお話させていただいたと思えますが、具体的にどの大会の集計となっているのでしょうか。</p>
事務局	<p>どの大会が何人というところまではこちらでも把握しておりませんでした。市外から参加いただくような大会ということで、これまでの実績等でございますが、例えば、カップハーフマラソン、河北レガッタ2000、千葉旗争奪少年剣道大会とか、A1カップアーチェリー大会、飯塚杯東北中学校選抜ソフトテニス大会など、こういった市外から来ていただくような大会をピックアップして集計しているということです。</p>
委員	<p>その辺を私がいつも申し上げてますが、例えばこの迫体育館で毎年やっている飛翔杯柔道大会も市外、県外からいっぱい子供たちが来ている。今話があったカップハーフマラソンだけでも3,000人来ているんですね。今話をした以外にも石ノ森章太郎旗の野球とか、市長杯争奪の卓球大会とか、体育協会サイドで年間10万人を超えるような市外からいっぱい来ているわけなんですよ。そういうのを交流人口としてみないで何を計算して4,000人だ5,000人だとか言っているのか全く分からない。ただ、限定した事業しか交流人口として認めないというのであれば、しょうがないと思えますけど、その辺もう一度考えを聞かせていただきたい。</p>
事務局	<p>指標といたしましてこれまで捉えてきたのは、事業をある程度限定して集計している、比較をするためということもございますが、市での委託をしている事業ということでのピックアップでございますので、その点をご理解いただければと思います。カップハーフマラソンや飛翔杯柔道大会も入ってお</p>

	<p>ります。ただ、先ほどおっしゃられた仮面ライダー杯ですか、あれは市の委託事業ではないので実際にはカウントされていないと、そういった考え方で集計を行っているという状況でございます。</p>
委員	<p>分かりました。そうであれば、委託事業とはっきり謳ってください。委託されていない登米市体育協会、各競技協会それぞれの独自事業というのがいっぱいあるわけです。そういう事業で、市外から、県外からいろんな方々をお呼びして地元の子どもたちや地元の競技団体と交流をしていることが全く市の方では交流人口としては認めないと、こういうことであっては私はおかしいと思うんです。どんどんと委託事業が減ってきている中で、委託事業だけの交流人口ということであれば最初から将来的には先細りになるという方向性ははっきりしているんだけど、とりあえずは市の委託事業だけで交流人口を積算していきますということをはっきりと謳ってください。そうでないと体育協会の役員の一人名としては、全く納得がいかない。</p>
会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>この総合戦略の位置付けと言いますか、市がやることだけを書くのか、やはり市民協働でやっていくという位置付けであれば、そういったものを含めて書いていくというのが必要になってくると思いますので、そのあたりしっかりと整理をいただいて、これは市がやっている部分のKPIの数値、というようなことで誤解の無いように記述していただければと思います。</p>
事務局	<p>これまで委託事業としていた経緯につきましては、市以外の人たちを対象にした事業で委託している事業を対象としてやっていこうという考え方でやってきましたけれども、今ご指摘がありました事も重々分かりますので、少し検討を加えさせていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。</p>
副会長	<p>42ページなんですけど、待機児童の解消と質の高い教育・保育の充実のところが大きな見出しを見ると、こども園とか幼稚園とか保育所というような形に私は受け止めるのですが、唐突にスクールガード登録者というのが出てきて学校教育の方も、義務教育の方も入っているのかなということがあり、このところはもし保育所とかこども園とか幼稚園というところに限定するならば、そのスクールガードというようなところは、違うところの例えば43ページの放課後児童健全育成事業とか、そういうところに入れた方がいいのかなとの感じを受けました。もう1つ待機児童に関しましては、放課後児童クラブにも待機児童があるということで、そこは少し戦略として子どもを産み育てるということを考えますと放課後児童クラブの待機児童数の解消という中で戦略に入れていかなければならないのではないかなという感じがいたしました。少しここのところの内容の整理が必要なのかなと感じたところでございます。</p>
事務局	<p>副会長おっしゃるとおり、学校関係のところを②の方に混在と言いますか、2つが入っているというような書きぶりになってございます。こちら、所管の担当部署とも連携を取りながら、このあたりの表現につきまして、今副会長がおっしゃるように③の方にまとめた方が良いのではというご意見でござ</p>

	<p>いますので、担当部署と協議をいたしまして検討してまいりたいと考えております。</p>
会 長	<p>併せてこのあたりのKPIの値がちょっと気になったんですが、おそらく児童数が減っていくことに伴ってだと思っんですが、目標が現況より低くなるという表現があるんですが、このあたり、もし児童数が減るということを受けてということであれば、比率というような形で表現するなどちょっと工夫をしていただければいいのかなと思います。逆に一方で、市民バスの利用者数なんですが、かなり上方修正と言いますか、目標値が大きくなっていると思いますが、もし高齢者が増加するからということ増やしているのであれば、それは結構危ないなと思っております、これからの高齢者は、しばらくは車で自分で移動できる方が多くなっていくと思われ、そういうことを考えますと、そんなに上がる数字ではないということもありますので、そのあたりを含めてKPIの値については今一度検討いただきたいと思っております。</p> <p>それと、前半のデータ整理のところ、登米市と他のところを比較しているようなグラフがあるんですが、できれば登米市の線を太くするとか、見やすく工夫していただくといいかなと思っております。</p> <p>それから37、38ページです。将来人口をまとめとして書いてありますが、その際に、前から全部読んでいけば分かるんでしょうけれども、ここだけ読んで理解するということは苦しいかなと思います。例えば37ページの生残率です。市内では、県内市で上位と登米市との中間値としておりますが、市外では県内平均以上としています。いずれにしても、どれくらいこれが厳しい数値なのかということがここだけだとよくわからない。それからその次もそうですが、38ページの純移動率、この20歳から24歳の年代に着目していますけれども、他がどれくらい厳しいとか、そういうあたりも少し丁寧に書いていただいた方が、この社人研より4,000人多いというのがどれほど大変なのかということが分かっていたらいいのかなと思っております。</p>
事務局	<p>ただ今会長からお話いただいた件、目標値が下がっている部分、あるいは目標値としてはちょっと厳しすぎるのではないかなというようなお話でございます。このあたりにつきましては、関係部署と重ねて協議してまいりまして、検討してまいりたいと考えてございます。2つ目のグラフの関係について、改めて見てみますと、本市のところ、少し目立った形と言いますか、太線などで表す工夫をしてまいりたいと考えてございます。それから、37ページ、38ページでございます。ここも、おっしゃるとおりでございます、このページだけを見ますと、なかなか目標がどれだけ厳しい設定をしているのかというのが見えないところもございまして、ここも併せまして検討してまいりたいと思っております。</p>
委 員	<p>立地適正化計画の中でアンケートを取ったんですが、かなり厳しいような状況なんですよ。買い物につきましてもほとんど8割、9割がネットショッピングや通販で、コンビニが5割というように、そこで買い物なり生活す</p>

	<p>るという人がほとんどなので、したがって公共交通を使う人、それからタクシーを使う人がかなり激減しております、ほとんどの人、8割、9割の人が移動手段として自家用車を使う。地域のまちもかなり衰弱しておりますし、登米市が合併して15年になりますが、地域生活基盤の整備あるいは人々の生活の様子が、コロナの関係でまた新しい生活様式に変わるといような中で、一概にSDGsに関連させていくのも無理があるのかなと思いますし、合併して未だに行政も議会も市民も合併した一体感というのが薄い状況だと思うんです。その辺の基本的なことをやりながら、民間との協働のまちづくりを狙っていくにはもう少しこの地域にですね、地域づくりを進めていって、被災地はですね、新しくまちもひと生活も全部変えました。ところが内陸部や山間部はその辺が遅れている。地域づくりというのは本当は里山づくりなんですよね、基本は。そういう時代に戻るのかなと思います。ところが登米市は人も風土もいいですし、発展の余地はあるんですが、まちも仕事もどういふうに進めていくのがかなりポイントになっていくと思うんですが、その前に市民の意識を向上させないと、計画倒れ、思ったとおりにいかないということになりますので、官民一体となって進めていく必要があると思います。</p>
<p>委員</p>	<p>53ページの方に農林業の担い手の育成・確保ということで、農協の立場からです。認定農業者数、目標値が少ない状態ですけれども、実際に今農業の担い手は少なくなっているのが現状だということではございますけれども、全体として地域を活性化するという観点からすると、農業に関わる方をどう増やしていくかを考えますと、全国的には新規就農者の流れとしては、1つのパターンとして「半農半X」というのがあって、半分農業をやって、半分何か別なことをするというようなことで、俗にいう兼業みたいな形のことですけれども、農業だけではなくて自分の好きな仕事を組み合わせた生活スタイルといった価値観の若者はそういうところに移住しているというような事例があるということをお聞きしていますので、ここで目標値にあるバリバリ農業をする認定農業者に絞り込むのは、人数が減るのは目に見えてきておりますので、地域活性化のために兼業農家のスタイルとはちょっと違うのかもしれないかもしれませんが、テレワークを含めてですね、いろんな地域の農村地域の良さを含めた生活の新しい価値観のものも含めてKPIの目標値なり、農業をバリバリやるというだけじゃない新しい価値観を創造していく移住する方を何か募集していくのも必要なのかなと思います。ここで認定農業者に限ってしまうと、人数的には段々と狭まっていくのかなと感じておりますので、そういった新しい生き方なり価値観を含めた考え方を入れてもらうのがいいのかなと感じますので、述べさせていただきました。</p>
<p>事務局</p>	<p>確かに委員おっしゃるとおり、認定農業者数を指標にしますと、だんだん数値が減っていくというような状況でもございますので、この部分につきましても所管する産業経済部とも十分協議をしながら検討してまいりたいと考えてございます。</p>

<p>会 長</p>	<p>KPIの示し方についてなんですが、取組の方では今おっしゃられたようなことを書いているので、意識はされているんですが、それを指標、KPIにまでは上げていないという扱いなのかなと思っております。ここだけではなくて、他の取組のところでもそういう現象がいっぱいありまして、全ての取組を全てKPIとして検証していくわけでもないのでありまして、そのあたりを分かるようにというか、誤解がないような形で表現していただければと思います。指標化できるのであれば是非取り組んでいただきたいと思えますし、それがなかなか難しいということであれば、それもしっかり考えたんだよということをきちんと分かるようにしていただければと思います。</p>
<p>委 員</p>	<p>41ページのKPIの目標で母子手帳の交付率とか肥満傾向児童の割合というところなんですけど、この数字の目標とか現況を見ただけでは高いのか低いのかちょっと分かりづらいので、例えば参考という形で全国平均はこれくらいというようなのをちょっと入れていただくと分かりやすいと思ったんですけれども。</p>
<p>事務局</p>	<p>いただいたご意見を基に、担当部局の方に確認をさせていただきますので、どういった表現が良いのか、おそらくKPIの説明の欄に入ると思いますが、入れ込むことができるのであれば入れていきたいと思えます。</p>
<p>委 員</p>	<p>39ページ、総合戦略、4つの基本目標の記載がございます。基本目標1で「子どもを産み育てられる、子育てにやさしいまちづくり」とありますが、もちろん、子育てにやさしいまちづくりは絶対条件として必要ではありますが、その後の教育という部分を是非入れていただきたいなということがございます。我々とめ青年会議所では毎年市内の中学生を対象とした登米市子ども議会ということで、子どもたちのまちづくりや行政に対する意見というものをよく聞いている事業を行っておりますが、やはりその際に毎年出てくる意見としては、教育の機会に対する他の地域と比べてのハンディキャップを感じるということを毎年多くいただいております。是非、教育に関すること、教育の充実性という部分を大きく掲げることが移住定住の部分に繋がるのではないかとこのところもございまして、挙げさせていただきます。</p> <p>あと、もう1点でございますが、55ページ、こちら移住定住に関する部分で、知名度・認知度の向上ということで、地域ブランド調査結果認知度を全国1,000市町村にやっ、現況で857位ということで、大変かなり下のランキングということで、もともとPRが非常に弱い地域と言われておりますが、主な取組に3点あげておりますが、特段今までと変わり映えがないのかなと思えます。もう少し具体的に一歩踏み込んだ戦略的なビジョンを掲げられた方がいいのかなと思えます。</p>
<p>会 長</p>	<p>今の意見を踏まえて検討していくということによろしいでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>はい。</p>
<p>会 長</p>	<p>その他いかがでしょうか。</p>

	<p>あと、また読み込んでいただきまして、何か出てくる場合もありますでしょうし、細かい話でということを出しかねている方もいらっしゃると思いますので、個別にご意見その都度あれば事務局の方にお話しただければと思います。</p> <p>本日いただいた意見を基に、各担当と事務局の方でご検討いただいて次回に修正案として出していただくとと思いますので、よろしくをお願いします。</p> <p>ということでよろしいでしょうか。</p> <p>本日の議題については以上ということにさせていただきます、進行の方事務局にお戻しいたしますので、よろしくをお願いします。</p>
【4 その他】	
事務局	特に無し
【5 閉会】	
副会長	<p>本日は9時からの会議に出席いただきまして、大変ありがとうございました。</p> <p>これまで委員の皆様いろいろな審議していただきまして、第二次登米市総合計画基本計画の改定の答申ができましたことに感謝申し上げます。</p> <p>ただ今、創生総合戦略の策定について皆様から大変貴重なご意見をいただきました。会長もお話ししていましたが、これを基に事務局の方で揉んでいただきまして、良い登米市の活力となるような戦略を作り上げてまいりたいと思います。委員皆様からの貴重なご意見ありがとうございました。</p> <p>これからインフルエンザの時期と新型コロナの拡大が危ぶまれております。私もインフルエンザの注射はしたんですけども、なかなかコロナは前回もお話ししましたがしんどいようです。どうぞ、委員の皆様には、それから事務局の皆様にも、健康第一で登米市の力になれるように、どうぞ健康第一でご活躍していただきたいなと思います。</p> <p>本日はどうもありがとうございました。</p>